

# 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況



平成19年8月3日

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所 福証  
 コード番号 5953 URL <http://www.showa.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 駿一 TEL : (092) 651 - 2931(代表)  
 問合せ先責任者 (役職名) 経 理 部 長 (氏名) 山根 譲治

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	2,413	15.7	344	-	348	-	212	-
19年3月期第1四半期	2,864	2.8	299	-	298	-	181	-
19年3月期	13,855		659		667		32	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	23	90	-	
19年3月期第1四半期	20	38	-	
19年3月期	3	65	-	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第1四半期	17,444	5,488	31.5	617	39
19年3月期第1四半期	18,394	5,601	30.5	629	03
19年3月期	18,168	5,861	32.3	659	33

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	264	0	38	2,156
19年3月期第1四半期	33	5	56	1,982
19年3月期	462	999	76	2,460

2. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	5,200	20.9	500	-	500	-	310	-	34	87
通期	14,700	6.1	240	-	240	-	130	300.1	14	62

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有  
減価償却の方法、法人税等の計上基準等
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成19年5月16日発表の平成20年3月期の中間業績予想を修正しております。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における当社グループの売上高は、前年同期間に比べ 450百万円( 15.7%)減少となりました。その主なる要因は、サーモデバイス製品は下期に集中する影響で前年に比べ 413百万円減少、工事請負は大型物件完成が少なく前年に比べ 237百万円減少したためであり、それ以外の製品につきましては、特に鋳物を中心とした製品が好調なことから、増加(前年同期間比+200百万円)致しております。

一方損益面につきましては、営業利益は固定費削減に努めてまいりましたが、売上減少からくる減益をカバーできず前年同期間比 45百万円赤字幅が拡大、また経常利益につきましても営業外損益がほぼ前年度並であることから前年同期間比 50百万円の減益となりました。

尚、当社グループの売上高は、季節的にかたよる製品(公共投資物件等)が下期に集中する傾向が強く、特に第1四半期は、年間売上高に占める割合が著しく低くなっております。(前第1四半期実績 20.7%、当第1四半期見込16.4%)

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産の部は、前年同期末に比べ 949百万円減少しております。その主なる要因は、受取手形及び売掛金等が、売上減少の影響を受け 482百万円減少、たな卸資産も在庫削減等の努力もあり 352百万円減少、また投資その他の資産も株価値下りによる時価会計の影響で減少しております。

一方負債の部は、支払手形及び買掛金等が、生産高減少に伴う取入減で大幅に減少した結果 836百万円減少しております。

また純資産の部は、前年同期末に比べ 113百万円減少しております。その主なる要因は、株価下落による評価差額金でありましたが、結果的には自己資本比率が31.5%と1.0%上昇致しました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年5月16日発表の平成20年3月期の中間業績予想を前回予想に比べ売上高 600百万円、営業利益 170百万円、経常利益 170百万円、当期純利益 100百万円下方修正致しております。主なる要因は、第2四半期で期待しておりました台湾向けサーモ製品の売上が、受注遅れ等により第3四半期にずれ込んだためであります。

尚、通期予想につきましては、変更はありません。

4. (要約)四半期連結財務諸表  
(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考) 前期末
	(平成19年3月期 第1四半期末)	(平成20年3月期 第1四半期末)	金 額	増減率	(平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額		金 額
[資産の部]					
流動資産	10,046	9,399	646	6.4	10,078
現金及び預金	1,982	2,156	174	8.8	2,460
受取手形及び売掛金等	5,402	4,919	482	8.9	5,637
たな卸資産	2,454	2,102	352	14.4	1,733
その他の	207	220	13	6.4	246
固定資産	8,347	8,045	302	3.6	8,089
有形固定資産	3,787	3,628	158	4.2	3,668
無形固定資産	101	100	1	1.0	100
投資その他の資産	4,458	4,315	142	3.2	4,320
資産の部合計	18,394	17,444	949	5.2	18,168
[負債の部]					
流動負債	9,110	9,147	37	0.4	9,376
支払手形及び買掛金等	3,639	2,851	788	21.7	3,111
短期借入金	4,126	4,823	696	16.9	4,824
製品補修対策引当金	-	102	102	-	110
その他の	1,343	1,371	27	2.0	1,330
固定負債	3,682	2,808	874	23.7	2,929
長期借入金	1,565	842	722	46.2	852
退職給付引当金	1,676	1,526	149	8.9	1,634
その他の	441	438	2	0.5	442
負債の部合計	12,792	11,956	836	6.5	12,306
[純資産の部]					
株主資本	4,706	4,672	34	0.7	4,915
資本金	1,641	1,641	-	-	1,641
資本剰余金	1,994	1,994	-	-	1,994
利益剰余金	1,085	1,056	29	2.7	1,299
自己株式	14	20	5	35.2	19
評価・換算差額等	894	815	78	8.8	946
その他有価証券評価差額金	874	785	88	10.1	915
為替換算調整勘定	20	30	9	46.7	30
純資産合計	5,601	5,488	113	2.0	5,861
負債、純資産合計	18,394	17,444	949	5.2	18,168

## (2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売 上 高	2,864	2,413	450	15.7	13,855
売 上 原 価	2,443	2,088	355	14.5	11,555
売 上 総 利 益	420	325	95	22.7	2,299
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	719	669	50	7.0	2,958
営 業 利 益	299	344	45	-	659
営 業 外 収 益	36	34	1	3.0	119
営 業 外 費 用	35	39	4	12.5	127
経 常 利 益	298	348	50	-	667
特 別 利 益	-	-	-	-	1,081
特 別 損 失	-	-	-	-	275
税金等調整前四半期(当期)純利益	298	348	50	-	139
税 金 費 用	116	136	19	-	106
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	181	212	30	-	32